

## 地域整備事業会計の財務状況

## 1. 貸借対照表の比較

各項目の 主な増減 要因	現預金 +32億円	分譲中の土地 ▲2ha +1億円	貸付中の土地 ▲1ha +7億円	進度調整地 ▲49ha▲79億円	企業債(流動+固定) ▲37億円
情報公園環境林 +80億円 企業債償還(借換分除く) ▲37億円 当年度執行(未成16億円 固定3億円) ▲19億円 分譲地等売却 +7億円 長期未収金回収等 +1億円		当年度執行 +6億円 分譲地土地分譲 (播磨科学公園都市C-12、 ワシントン村住宅等) ▲5億円	当年度執行 +8億円 貸付中土地分譲 (潮芦屋北部業務用地等) ▲1億円	情報公園環境林 ▲80億円 当年度執行分 +1億円	企業債償還 ▲128億円 企業債借換発行 +91億円

&lt;令和6年度末&gt;

(単位:億円)

&lt;令和7年度末&gt;

(単位:億円)

資産の部		負債・資本の部	
流動資産 177	現預金	169	流動負債 138
	未収金等	8	企業債(R7償還)
未成事業 資産 291	分譲中の土地	21ha(※1) 11	未払金、預り金等
	貸付中の土地等	128ha(※2) 47	25 ・潮芦屋 ・神戸三田国際公園都市 12 ・ひょうご情報公園都市 91
	進度調整地	1,005ha	企業債(R8以降償還)
	・播磨科学公園都市 790ha ・ひょうご情報公園都市 215ha	233	579
固定資産 353	※地区ごとの金額については、情報2期事業における事業者への売買金額に直結するため非公表	594	固定負債
	長期未収金・小中学校分 28等	32	引当金(修繕、退職、賞与)
	長期貸付金(R8以降回収) ・一般会計への貸付金(財源対策)	77	15
	投資有価証券 ・理化学研究所 74、 ・(株)北摂ミューテック開発センター 15等	90	長期前受金
	有形固定資産 ・夢舞台 92、 ・播磨科学公園都市施設 33、 ・ONOKORO 26等	154	1
資産の部 合計	821	負債の部 合計	733
		純資産	88
		累積欠損金	△157
		出資金、資本剰余金等	245
		資本の部 合計	88
		負債・資本の部 合計	821

資産の部		負債・資本の部	
流動資産 211	現預金	201	流動負債 184
	未収金等	10	企業債(R8償還)
未成事業 資産 220	分譲中の土地	19ha(※1) 12	未払金、預り金等
	貸付中の土地等	127ha(※2) 54	7
	進度調整地	956ha	企業債(R9以降償還)
	・播磨科学公園都市 790ha ・ひょうご情報公園都市 166ha	154	493
固定資産 348	※地区ごとの金額については、情報2期事業における事業者への売買金額に直結するため非公表	506	固定負債
	長期未収金・小中学校分 25等	27	引当金(修繕、退職、賞与)
	長期貸付金(R8以降回収) ・一般会計への貸付金(財源対策)	77	13
	投資有価証券 ・理化学研究所 74、 ・(株)北摂ミューテック開発センター 15等	90	長期前受金
	有形固定資産 ・夢舞台 93、 ・播磨科学公園都市施設 34、 ・ONOKORO 26等	154	1
資産の部 合計	779	負債の部 合計	691
		純資産	88
		累積欠損金	△157
		出資金、資本剰余金等	245
		資本の部 合計	88
		負債・資本の部 合計	779

※1: (内訳) 阪神地域 住宅(神戸三田国際公園都市)、播磨地域 産業・住宅用地(播磨科学公園都市)、淡路地域 産業用地(淡路津名地区)

※2: (内訳) ・阪神地域 定借地(潮芦屋、神戸三田国際公園都市)、播磨地域 定借地(播磨科学公園都市)、淡路地域 貸付地(淡路津名地区) 等

## 2. 資金不足対策スケジュール

※金額については今後要精査（単位：億円）

項目	方針	スケジュール							計
		R6	R7	R8	R9	R10	R11~15	R16~20	
	企業債償還額（億円）	51	37	95	7	147	356	65	758
1 一般会計との貸借関係の整理	●貸借関係を着実に整理						200		200
2 進度調整地の活用・処分									
①ひょうご情報公園都市第2期エリア	●公民連携(県・市・民間)による産業団地化					16			16
②ひょうご情報公園都市第2期エリア外	●県有環境林へ移管 ●取得経緯に鑑み、簿価で移管		81	73	34				188
③矢野・小犬丸地区		88							88
④播磨科学公園都市第2、3工区	●時価評価の上、事業用地として当面保有 ●都市のあり方についての検討作業に併せて検討								-
3 企業庁他会計からの資金融通	●企業資産運用事業会計等から余剰資金を融通						60(※)		60
<b>対策額 計</b>		<b>88</b>	<b>81</b>	<b>73</b>	<b>34</b>	<b>16</b>	<b>260</b>	<b>-</b>	<b>552</b>
<b>対策後 資金残高</b>		<b>150</b>	<b>179</b>	<b>152</b>	<b>163</b>	<b>18</b>	<b>△138</b>	<b>△429</b>	
4 保有資産の整理	●R20年度の会計収束も視野に、開発・貸付中の土地の売却をはじめ、保有資産の活用・処分等を推進								順次調整
									(588)
									最大:1,140

(参考値：健全化法上で算出する未売出土地収入見込額)

まちびらき30周年  
都市のあり方検討作業後算出

R7年実施計画ベースから**4億円改善**  
**(△433億円→△429億円)**  
(改善要因：インフラ負担金等の執行減)

# 地域整備事業会計の財務状況

## (参考) 資金不足対策スケジュール (県政改革方針 令和7年度実施計画)

※金額については今後要精査 (単位: 億円)

項目	方針	スケジュール							計
		R6	R7	R8	R9	R10	R11~15	R16~20	
	企業債償還額 (億円)	51	37	95	7	147	356	65	758
1 一般会計との貸借関係の整理	● 貸借関係を着実に整理						200		200
2 進捗調整地の活用・処分									
① ひょうご情報公園都市 第2期エリア	● 公民連携(県・市・民間)による産業団地化					16			16
							(参考値: 健全化法上で算出する未売出土地収入見込額)		
② ひょうご情報公園都市 第2期エリア外	● 県有環境林へ移管 ● 取得経緯に鑑み、簿価で移管		81	73	34				188
③ 矢野・小犬丸地区		88							88
④ 播磨科学公園都市 第2、3工区	● 時価評価の上、事業用地として当面保有 ● 都市のあり方についての検討作業に併せて検討								-
3 企業庁他会計からの資金融通	● 企業資産運用事業会計等から余剰資金を融通						60(※)		60
<b>対策額 計</b>		<b>88</b>	<b>81</b>	<b>73</b>	<b>34</b>	<b>16</b>	<b>260</b>	<b>-</b>	<b>552</b>
<b>対策後 資金残高</b>		<b>148</b>	<b>178</b>	<b>147</b>	<b>159</b>	<b>13</b>	<b>△142</b>	<b>△433</b>	<b>見込</b>
4 保有資産の整理	● R20年度の会計収束も視野に、開発・貸付中の土地の売却をはじめ、保有資産の活用・処分等を推進								順次調整
									(588)
									最大: 1,140